

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年4月8日

【四半期会計期間】 第32期第3四半期(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)

【会社名】 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

【英訳名】 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 菊地 哲

【本店の所在の場所】 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号

【電話番号】 (03)6203-5000(代表)

【事務連絡者氏名】 主計部長 矢板 邦彦

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号

【電話番号】 (03)6203-5000(代表)

【事務連絡者氏名】 主計部長 矢板 邦彦

【縦覧に供する場所】 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 大阪支店
(大阪市北区梅田三丁目1番3号)

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 名古屋支店
(名古屋市中区錦一丁目5番11号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年2月10日に提出いたしました第32期第3四半期（自平成22年10月1日 至平成22年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況

(4) 販売実績

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

注記事項

セグメント情報等

セグメント情報

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(4) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(訂正前)

セグメントの名称	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
ソリューションビジネスセグメント	<u>63,426</u>	—
サービスビジネスセグメント	<u>12,915</u>	—
報告セグメント計	<u>76,341</u>	—
調整額	<u>△10,873</u>	—
合計	65,468	—

(注) 1. セグメント間の取引については、調整額において消去しております。

2. 前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間における業種別の販売実績並びにその構成比は、次のとおりであります。

業種	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
通信・放送	19,092	28.8	18,584	28.4
電気	3,590	5.4	4,152	6.3
製造等	12,981	19.6	<u>11,559</u>	<u>17.7</u>
情報サービス	13,319	20.1	<u>13,808</u>	<u>21.1</u>
公共	3,428	5.2	<u>2,889</u>	4.4
商業・運輸	4,285	6.4	<u>4,662</u>	7.1
金融・保険	5,927	8.9	<u>6,112</u>	<u>9.3</u>
その他	3,709	5.6	<u>3,698</u>	<u>5.7</u>
合計	66,334	100.0	65,468	100.0

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

セグメントの名称	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
ソリューションビジネスセグメント	<u>63,416</u>	—
サービスビジネスセグメント	<u>22,172</u>	—
報告セグメント計	<u>85,588</u>	—
調整額	<u>△20,120</u>	—
合計	65,468	—

(注) 1. セグメント間の取引については、調整額において消去しております。

2. 前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間における業種別の販売実績並びにその構成比は、次のとおりであります。

業種	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
通信・放送	19,092	28.8	18,584	28.4
電気	3,590	5.4	4,152	6.3
製造等	12,981	19.6	<u>11,785</u>	<u>18.0</u>
情報サービス	13,319	20.1	<u>13,997</u>	<u>21.4</u>
公共	3,428	5.2	<u>2,901</u>	4.4
商業・運輸	4,285	6.4	<u>4,625</u>	7.1
金融・保険	5,927	8.9	<u>5,414</u>	<u>8.3</u>
その他	3,709	5.6	<u>4,007</u>	<u>6.1</u>
合計	66,334	100.0	65,468	100.0

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

<前略>

ソリューションビジネスセグメントは金融システム事業グループやエンタープライズシステム事業グループで収益が増加したものの、情報通信システム事業グループや流通システム事業グループを中心に減少し、売上高は63,426百万円、営業利益は3,972百万円となりました。サービスビジネスセグメントはデータセンター事業グループや保守・運用サービス事業グループにおいて収益が減少し、売上高は12,915百万円、営業利益は2,953百万円となりました。

(注) 上記セグメントの売上高及び営業利益には、当社グループ内取引において生じた金額を含んでおります。

(訂正後)

<前略>

ソリューションビジネスセグメントは金融システム事業グループやエンタープライズシステム事業グループで収益が増加したものの、情報通信システム事業グループや流通システム事業グループを中心に減少し、売上高は63,416百万円、営業利益は3,972百万円となりました。サービスビジネスセグメントはデータセンター事業グループや保守・運用サービス事業グループにおいて収益が減少し、売上高は22,172百万円、営業利益は2,953百万円となりました。

(注) 上記セグメントの売上高及び営業利益には、当社グループ内取引において生じた金額を含んでおります。

第5 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソリューション ビジネス セグメント	サービス ビジネス セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	185,569	7,223	192,792	—	192,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	<u>811</u>	<u>30,955</u>	<u>31,767</u>	<u>△31,767</u>	—
計	<u>186,381</u>	<u>38,178</u>	<u>224,560</u>	<u>△31,767</u>	192,792
セグメント利益	11,417	8,598	20,015	△10,904	9,111

(注) 1. セグメント利益の調整額△10,904百万円には、主に全社費用△12,041百万円、セグメント間取引消去1,135百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソリューション ビジネス セグメント	サービス ビジネス セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	185,569	7,223	192,792	—	192,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	<u>779</u>	<u>58,561</u>	<u>59,341</u>	<u>△59,341</u>	—
計	<u>186,349</u>	<u>65,784</u>	<u>252,134</u>	<u>△59,341</u>	192,792
セグメント利益	11,417	8,598	20,015	△10,904	9,111

(注) 1. セグメント利益の調整額△10,904百万円には、主に全社費用△12,041百万円、セグメント間取引消去1,135百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソリューション ビジネス セグメント	サービス ビジネス セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,140	2,328	65,468	—	65,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	<u>286</u>	<u>10,587</u>	<u>10,873</u>	<u>△10,873</u>	—
計	<u>63,426</u>	<u>12,915</u>	<u>76,341</u>	<u>△10,873</u>	65,468
セグメント利益	3,972	2,953	6,925	△3,650	3,275

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,650百万円には、主に全社費用△3,956百万円、セグメント間取引消去388百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソリューション ビジネス セグメント	サービス ビジネス セグメント	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,140	2,328	65,468	—	65,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	<u>276</u>	<u>19,844</u>	<u>20,120</u>	<u>△20,120</u>	—
計	<u>63,416</u>	<u>22,172</u>	<u>85,588</u>	<u>△20,120</u>	65,468
セグメント利益	3,972	2,953	6,925	△3,650	3,275

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,650百万円には、主に全社費用△3,956百万円、セグメント間取引消去388百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年4月8日

【会社名】 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

【英訳名】 ITOCHU Techno-Solutions Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 菊地 哲

【最高財務責任者の役職氏名】 取締役兼専務執行役員 池田 修二

【本店の所在の場所】 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号

【縦覧に供する場所】 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 大阪支店
(大阪市北区梅田三丁目1番3号)

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 名古屋支店
(名古屋市中区錦一丁目5番11号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長菊地哲及び取締役兼専務執行役員池田修二は、当社の第32期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）の四半期報告書の訂正報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

該当事項はありません。